平成 22 年度　事務事業事後評価調書（平成　21　年度事業）

整理番号	10	―	22

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	社会科副読本作製事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		教育総務係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	髙橋健仁		氏名	安井雅憲
事業の概要	雄武町学校教育振興推進協議会での原案を教育委員会が監修のうえ、外注により構成並びに印刷製本を行った副読本を各学校へ配備し、小学校3、4年生の授業に供する。					

全体計画	/期間限定複数年度 (平成 21 年度～ 23 年度)	
事業費	国・道支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他	0 千円
	一般財源	3,700 千円
	事業費計	3,700 千円

実施方法	■ 直営	民間委託	その他（　　）
第 5 期 総合計画（前期）	■ 登載事業	非登載事業	優先度 A

事業の位置付け			
政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	
基本施策	#	学校教育の充実	
単位施策	1	小中学校の教育内容の充実	
事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務	
その他計画・根拠等			

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	3,700 千円	千円
合計	千円	千円	千円	3,700 千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	児童・生徒・教職員	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	現在使用している副読本は平成１４年４月発行のものであり、現状とデータ内容に相違がある。	副読本の配備小学校数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	新学習指導要領の完全移行時期である平成２３年度に新刊を発刊する。	① 配備小学校数	目標年度	平成23年度
			目標値	5 校
			実績値	0 校
			達成度	0.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	町内小学校において自分たちの住む身近な地域に関する学習の充実が図られる。	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
資料収集・素案検討	雄武町学校教育振興推進協議会における社会科副読本編集委員会（特別委員会）を中心とし、資料の収集及び素案の検討を行った。

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	副読本は自分の住む地域に関する学習の充実が必要であり、実勢に合ったものを必要とする。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	雄武町学校教育振興推進協議会の社会科副読本編集委員会が中心となり、平成２２年度に行う原案の作成に向けた取り組みが行えた。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 ■時間短縮・作業軽減 □その他	資料の収集と素案の作成を終えたことから、今後の製本の外注にあたり、コスト及び時間に無駄なく行うことができ、この結果、原案作成後に十分な監修・議論が行える。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	該当する学年の児童に対し、等しく活用できるよう推進している。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
副読本の発刊に向け、年次計画どおり進められた。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
平成２２年度の原案の作成、平成２３年度の製本化及び配備に向けて着実に進んでいる。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）